



昭和電線グループ 事業別中期経営計画 説明資料

Dec 6, 2021

昭和電線ホールディングス（株） 東証一部（5805）

1. ビジョン「VISION SWCC 2030」 中期経営計画「Change & Growth SWCC 2026」

2. セグメント事業戦略

- ① エネルギー・インフラ事業セグメント
- ② 通信・産業用デバイス事業セグメント
- ③ 電装・コンポーネンツ事業セグメント

3. Appendix

ビジョン

SWCC VISION 2030

中期経営計画

Change & Growth SWCC 2026

ビジョン 中期経営計画

SWCC VISION 2030 Change & Growth SWCC 2026

中期経営計画基本方針

1. 基盤事業の収益力強化
2. 新規事業の創出
3. 海外事業の新展開

戦略① **Change**
構造改革のさらなる積み上げ

戦略② **Growth**
成長フェーズへの移行

Creating for the Future

SWCC VISION 2030
未来につなぐ価値を創造する

SWCC VISION 2030

2030年度業績目標

売上高	2,200億円
営業利益	200億円
営業利益率	9%以上
ROIC	10%以上

中期経営計画

「Change & Growth SWCC 2026」

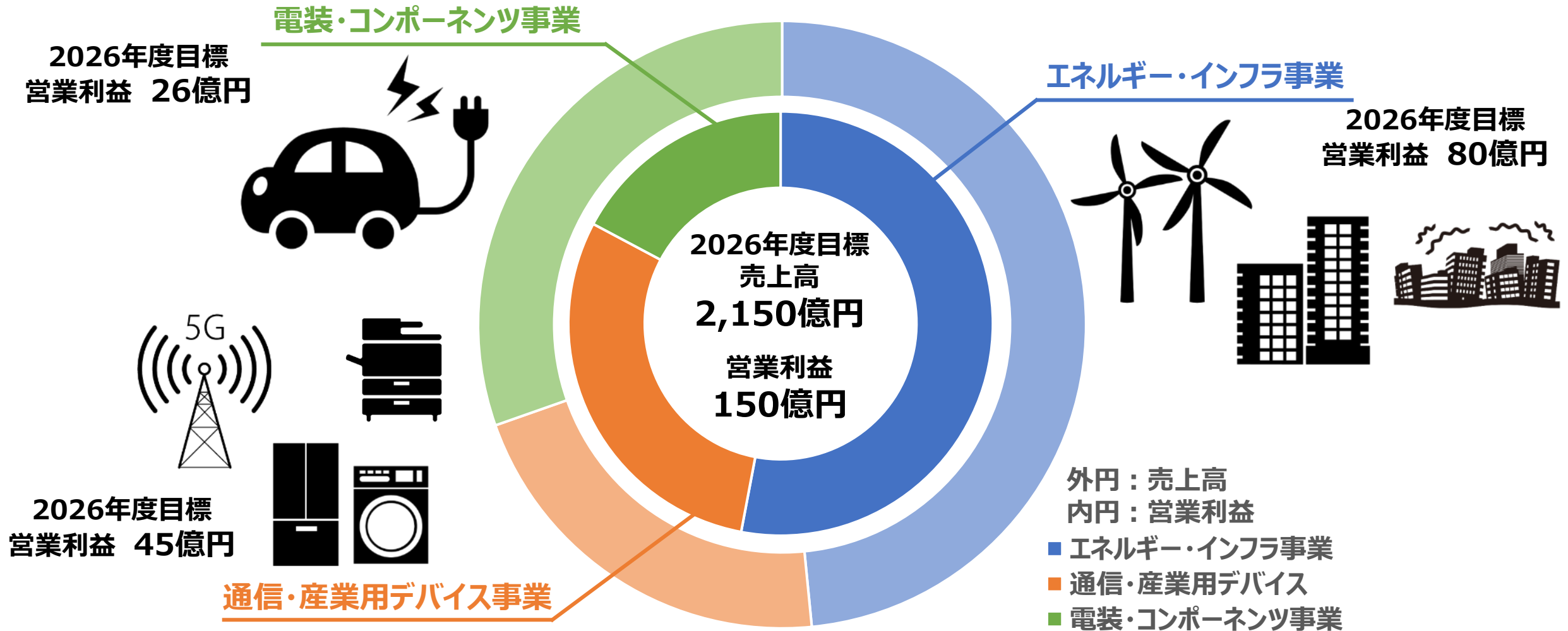
2022年度業績目標

売上高	2,000億円
営業利益	100億円
営業利益率	5%以上
ROIC	7%以上

2026年度業績目標

売上高	2,150億円
営業利益	150億円
営業利益率	7%以上
ROIC	8.5%以上

主要3セグメントと関連する市場



事業ポートフォリオ変化

	2020年度		2026年度		2030年度
売上高	1,617億円		2,150億円		2,200億円
営業利益	76億円		150億円		200億円
営業利益率	4.7%		7%以上		9%以上
	2020年度 売上高比率		2026年度 売上高比率		2030年度 売上高比率
自動車	16%		20%		21%
電力	14%		14%		15%
建設	40%		33%		28%
通信	8%		8%		9%
産業機器	20%		21%		22%
ICT	2%		4%		5%

中期的なキャッシュアロケーション

2017年度～2021年度 累計

営業利益	362	税金	69
		その他	66
		設備投資	224
		運転資金増減	59
減価償却費	173	借入返済	103
		配当	14
		FCF	117
EBITDA	535		535

2022年度～2026年度 累計

営業利益	610	税金	184
		その他	9
		設備投資	310
		成長投資	200
		運転資金増減	30
減価償却費	231	借入返済	1
		配当	107
		FCF	108
EBITDA	841		841

① 生産能力増強	120億円
② 生産拠点再編・強靱化、設備更新	122億円
③ 合理化・ICT強化	35億円
④ 研究開発	20億円
⑤ 環境負荷低減他	13億円
合計	310億円

新たな成長事業領域への投資
200億円（M&Aなど）

2026年度 株主還元

一株当たり配当 120円以上
配当性向 約35%

セグメント事業戦略

当社のマネジメント体制

昭和電線ホールディングス代表取締役社長
グループCEO
長谷川隆代

執行役員
エネルギー・インフラ事業セグメント長
川瀬幸雄



執行役員
通信・産業用デバイス事業セグメント長
兒玉喜直



執行役員
電装・コンポーネンツ事業セグメント長
山村隆史

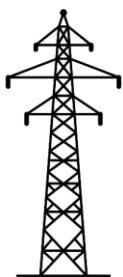


エネルギー・インフラ事業セグメント

エネルギー・インフラ事業のサブセグメントと市場

電力インフラ

脱炭素



建設関連

生活
基盤



免震

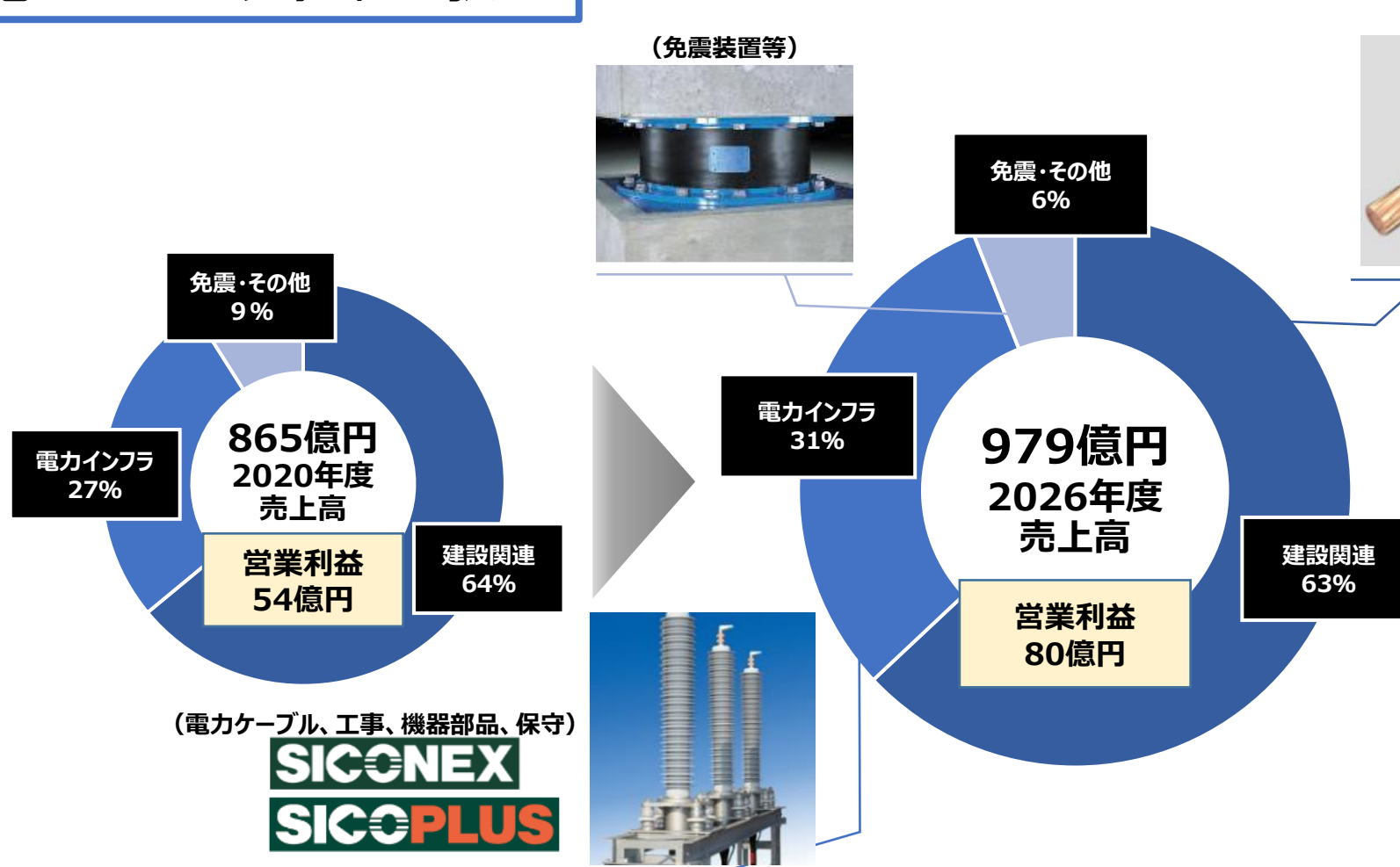
防災



市場	変電所・送配電網・再生可能エネルギー	ビル・商業施設等の建設物	ビル・商業施設等の建設物
市場見通し	・洋上風力等の需要拡大 ・高経年設備更新需要	・首都圏再開発、大阪万博向け等	・レジリエンス需要増加
戦略	・SICOPLUS™展開	・DXとECによるビジネスモデルを転換	・ソリューション型ビジネスへの新展開
強み	・SICONEX®のソリューション展開 (SICOPLUS™)	・豊富なラインナップときめ細かな配送サービス	・精密な免震設計提案力
主な拠点	神奈川県、愛知県	三重県、茨城県、神奈川県	神奈川県

エネルギー・インフラ事業 中期経営計画

電力インフラ事業の強化



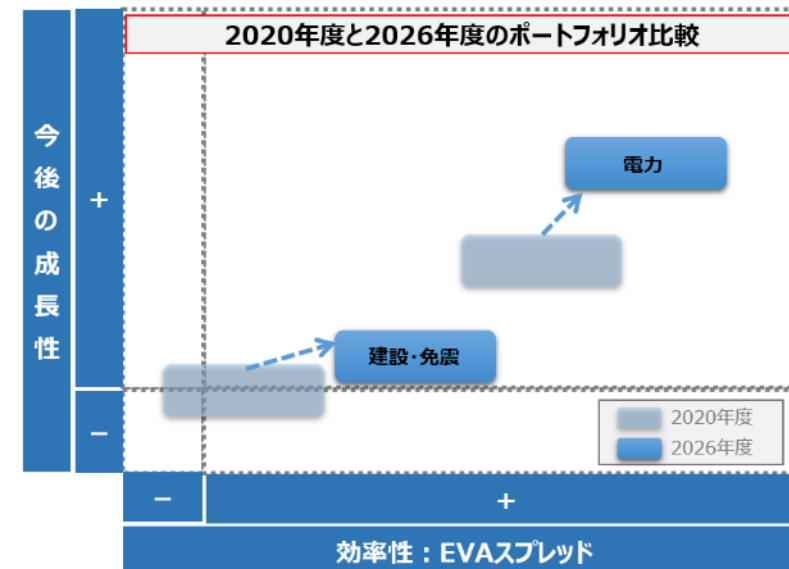
設備投資

増強投資

48億円

更新投資

42億円



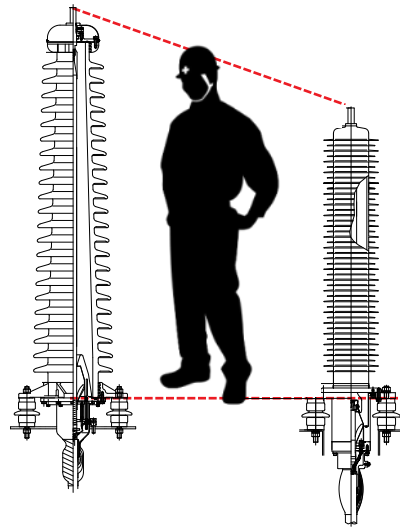
エネルギー・インフラ事業戦略 SICOPPLUS™戦略

戦略製品SICONEX®シリーズの特長

従来品と比較して…

- ・コンパクト、軽量
- ・工事現場での作業軽減
- ・災害に強い

【サイズ比較】



【作業工程比較】

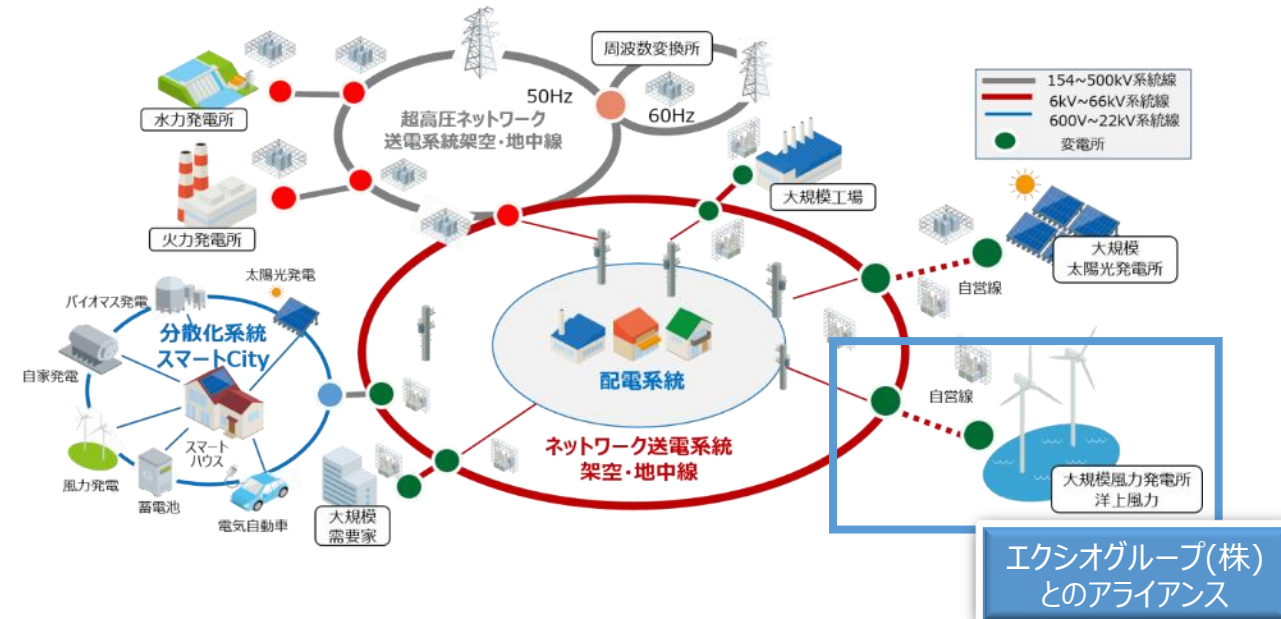
磁器がい管	本体据付・ケーブル処理	組み立て	その他
SICONEX®	本体据付・ケーブル処理	組み立て	その他

工期を30%短縮

SICOPPLUS™戦略

SICOPPLUS™とは…

戦略製品であるSICONEX®(部品)を核にした
ケーブル・工事・保守のソリューション



施工人員補強のための教育プログラムを併設

エネルギー・インフラ事業戦略 電力インフラ市場戦略

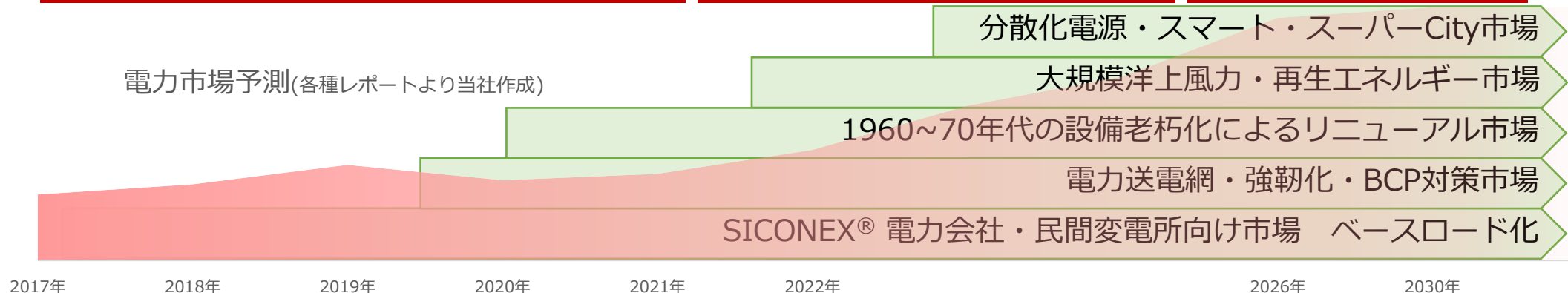
カーボンニュートラル推進

2017年～

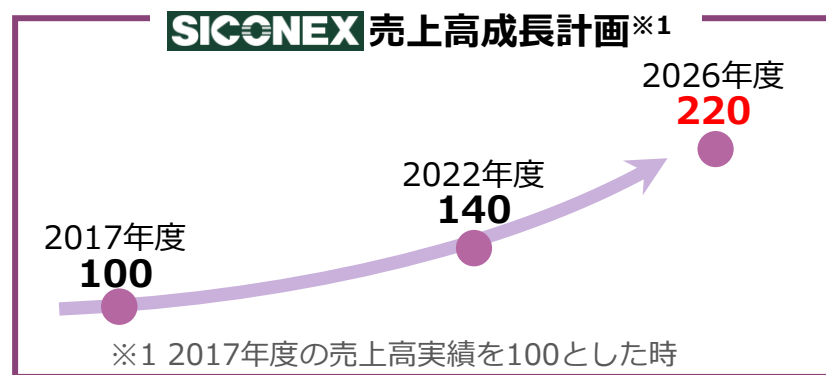
2022年～

2026年～

市場の拡大

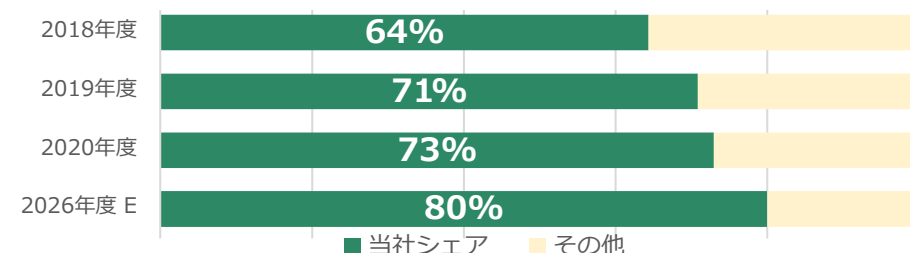


売上拡大



20億円の増産投資により23年度に生産能力1.5倍

変電市場※2における **SICOPLUS** のシェア推移



※2 民間企業・電力会社を合計した市場(当社調べ)

エネルギー・インフラ事業戦略 建設市場向け製品のDX化推進

ECサイト蛙屋で建設用電線のビジネスモデルを変える

DX ソリューション

最適な品揃え

受注プロセス

AI・IoTの導入

製造プロセス

出荷・輸送効率化

物流プロセス



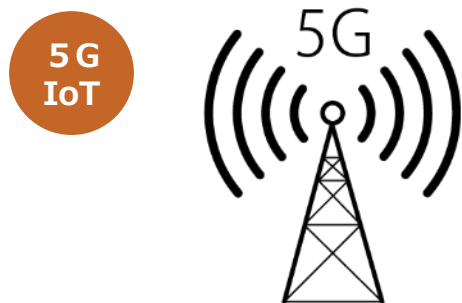
バリューチェーンを改革し “高収益ビジネスモデル”にかえる



通信・産業用デバイス事業セグメント

通信・産業用デバイス事業のサブセグメントと市場

通信ケーブル



ワイヤハーネス



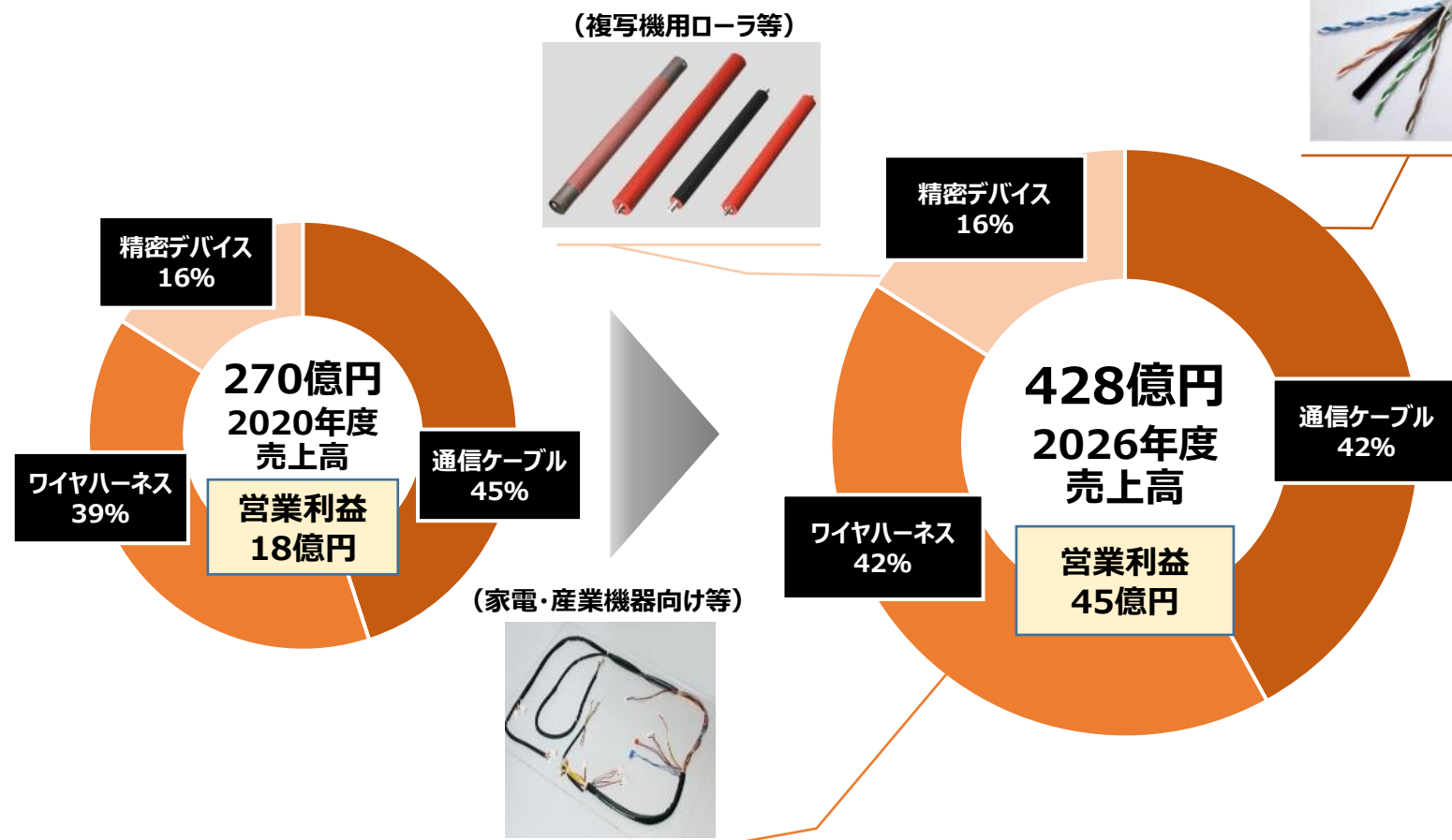
精密デバイス



市場	通信インフラ網	白物家電・産業機器	複写機・印刷機
市場見通し	・通信トラフィック・通信機器の増大	・グローバル市場の拡大	・商業用印刷の多様化 ・グローバル市場の拡大
戦略	・FLANTEC™の新市場展開 ・e-Ribbon®のグローバル拡販	・日系メーカーとの強固なパートナー戦略	・日系メーカーとの強固なパートナー戦略
強み	・国内LANケーブル市場における高いシェア	・地産地消を実現する生産体制	・ゴムの成形技術力 ・地産地消を実現する生産体制
主な拠点	山梨県、宮城県	中国（浙江省）、中国（広東省）、ベトナム	神奈川県、中国（福建省）、ベトナム

通信・産業用デバイス事業 中期経営計画

ワイヤハーネスの生産力強化



(LANケーブル)



(e-Ribbon®)



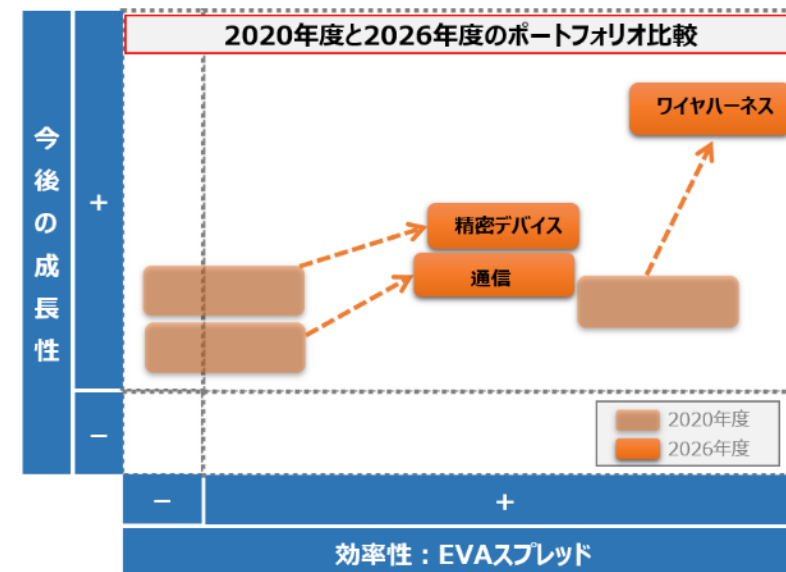
設備投資

増強投資

24億円

更新投資

14億円

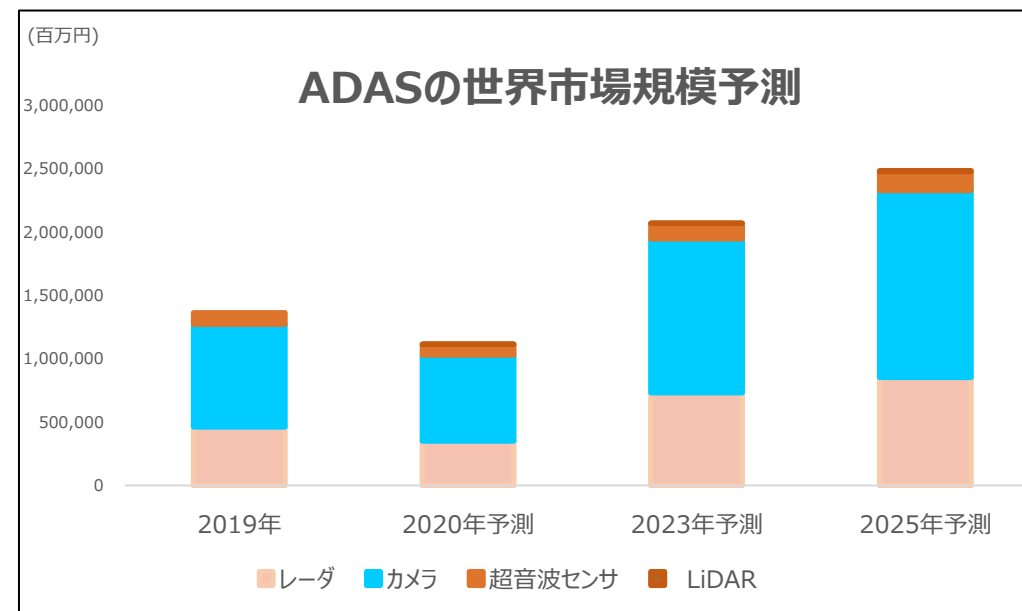
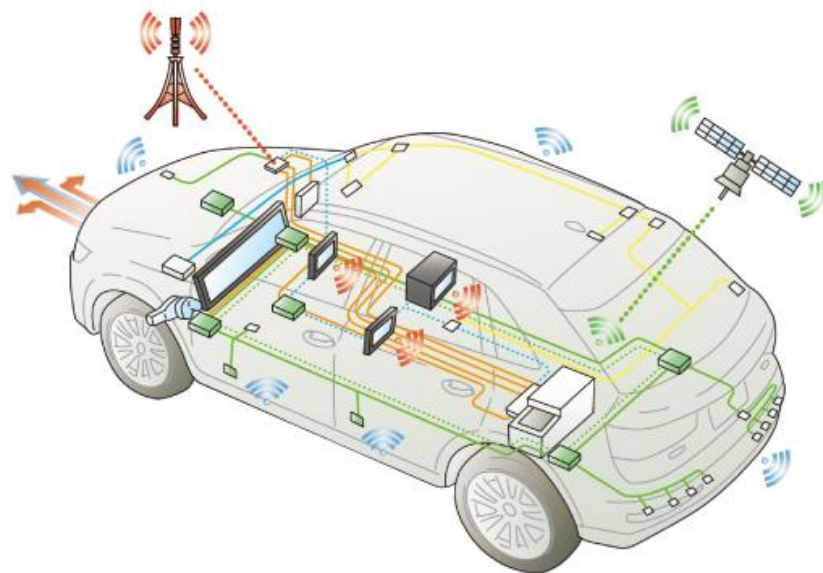


通信・産業用デバイス事業 FLANTEC™戦略

高速LANケーブル FLANTEC™ の車載ネットワークへの展開

レベル4以上の自動運転を実現する高精度カメラ等に高速イーサネット技術を展開

FLANTEC



注1. メーカー出荷金額ベース 注2. 2020年以降は予測値
注3. レーダには77GHzミリ波レーダ、24GHz準ミリ波レーダを含む
注4. カメラにはセンシングカメラ、リア/サウンドビューカメラを含む

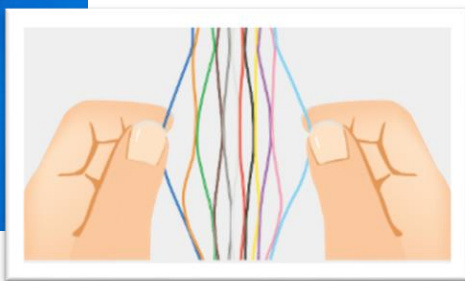
出所：(株)矢野経済研究所「ADAS/自動運転用センサ世界市場に関する調査（2020年）」2020年10月26日発表

通信・産業用デバイス事業 e-Ribbon®戦略

超細径高密度光ケーブル用ローラブルリボンの拡販



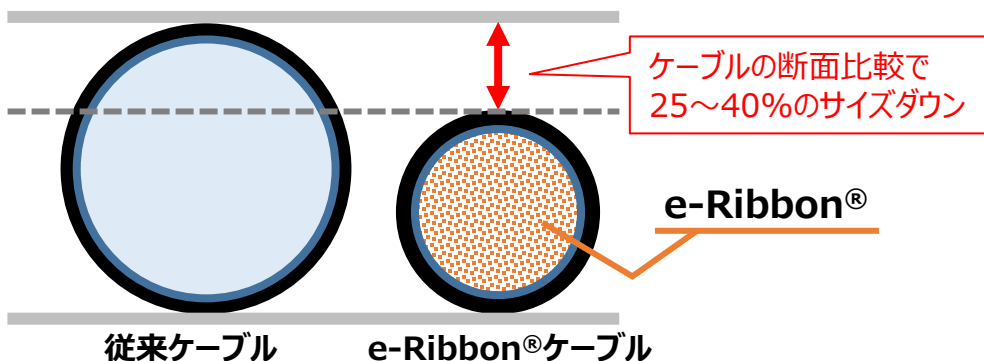
世界的に増加するデータセンター内で増えるケーブル量に、
細く・省スペースな高速の光通信ケーブルでアプローチ。



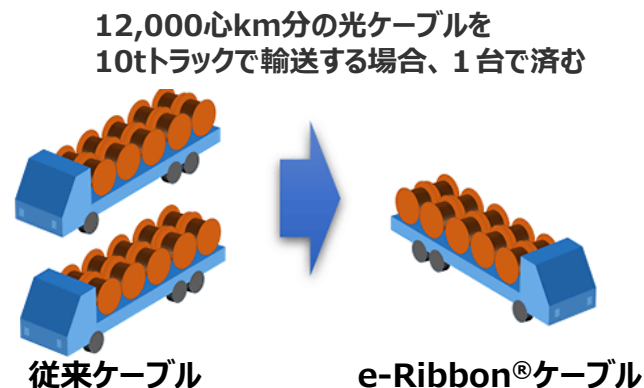
e-Ribbon®

ケーブル・リボンで2026年までに
売上高約6倍（2020年度比）

【従来品との比較】

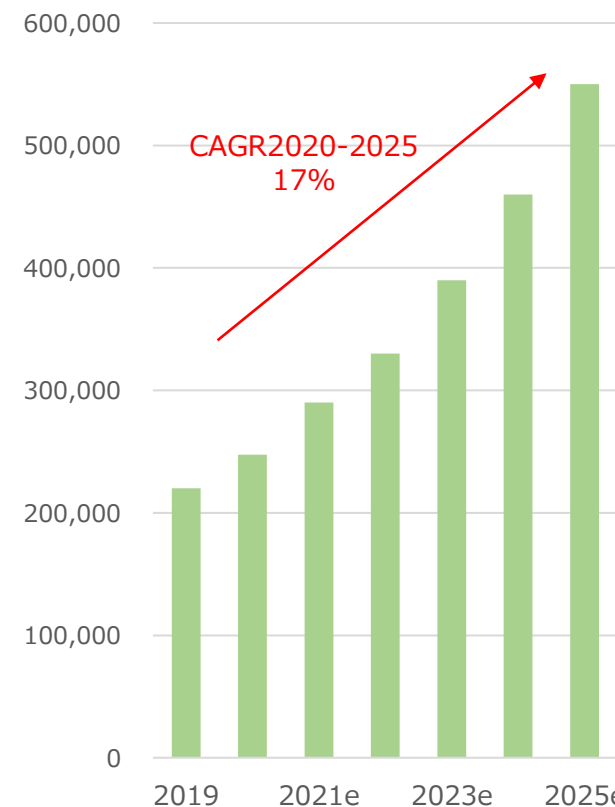


【輸送コストの削減】



世界データセンター市場予測

(単位：million dollars)



出所：各種レポートより当社作成

通信・産業用デバイス事業 海外戦略

中国・東南アジア 市場予測

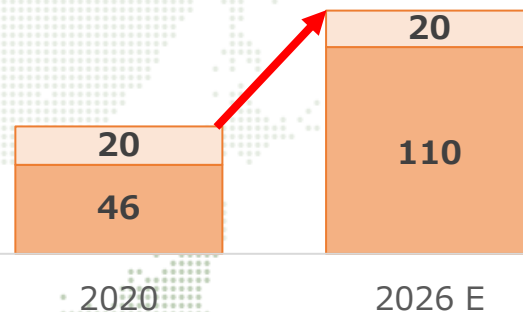
ワイヤハーネス
CAGR 16%

精密デバイス
CAGR 10%

中国向け 売上高

(単位：億円)

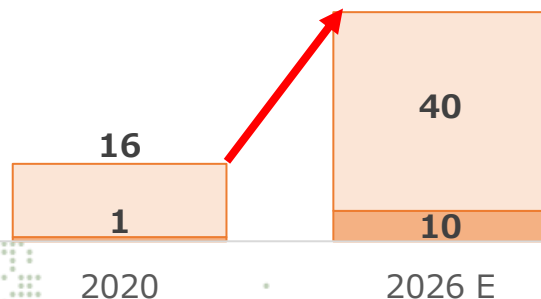
■ ワイヤハーネス ■ 精密デバイス



東南アジア向け 売上高

(単位：億円)

■ ワイヤハーネス ■ 精密デバイス



ワイヤハーネス

精密デバイス

- ・日系メーカーとの強固なパートナー戦略
- ・地産地消を実現する生産体制を展開



2021年12月に竣工予定の
中国(浙江省)ワイヤハーネス
新工場

電装・コンポーネンツ事業セグメント

電装・コンポーネンツ事業のサブセグメントと市場

高機能製品無酸素銅

xEV化



その他高機能製品 (高機能巻線、銅合金線)

xEV化



一般汎用製品

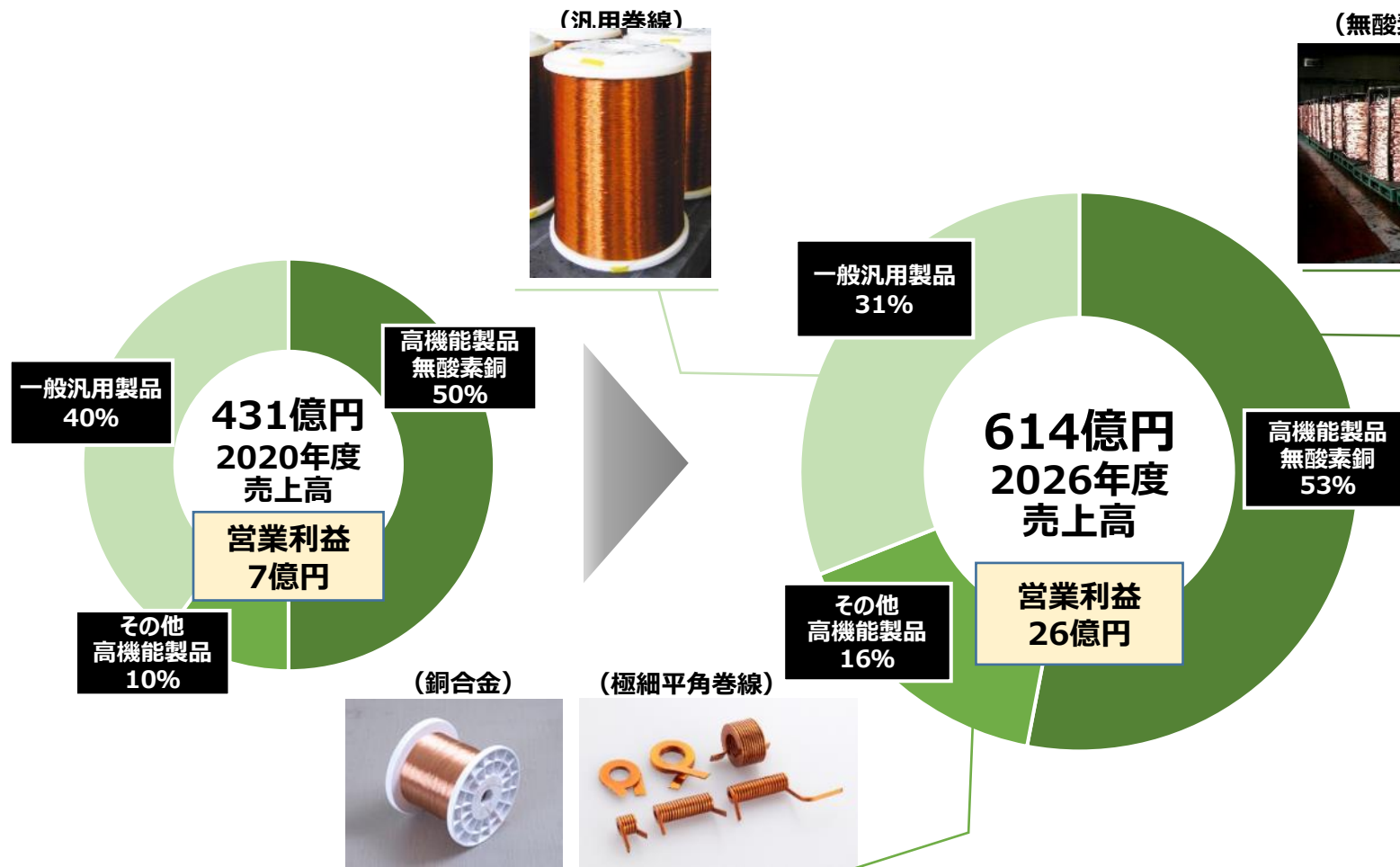
生活
基盤



市場	xEV車・電子部品	xEV車	汎用変圧器・国内産業用モータ
市場見通し	・xEV化による高効率モータ等の需要の拡大	・xEV化による車載用高機能巻線とヒータ線需要の拡大	・国内サプライヤーの撤退 ・海外製品の浸透と価格競争激化
戦略	・MiDIP®のさらなる生産性向上による増産 ・地産地消	・巻線、銅合金線の製造設備増強による増産	・ラインナップの見直し
強み	・低酸素量と耐水素脆化を実現するMiDIP®	・高耐電圧平角巻線の製造 ・銅合金技術	・国内唯一の総合巻線メーカー
主な拠点	三重県、中国（浙江省）	三重県、宮城県	三重県

電装・コンポーネンツ事業 中期経営計画

車載向け高機能製品へのシフト



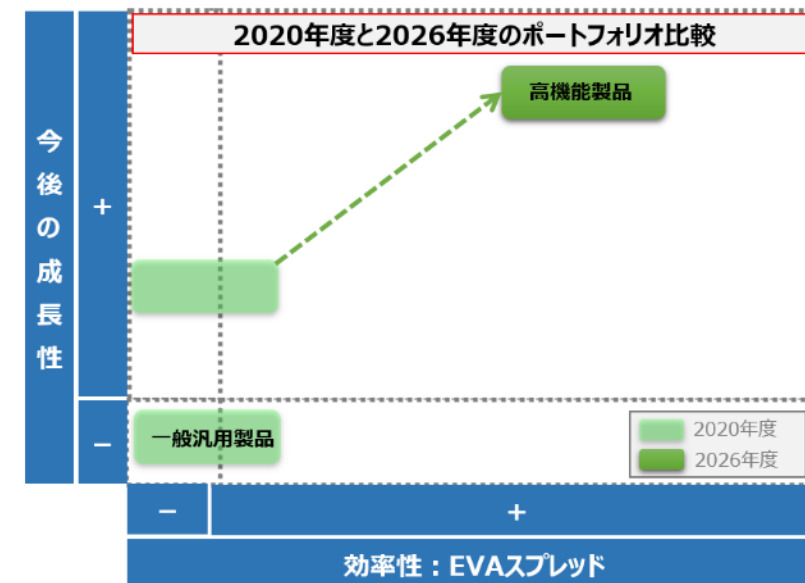
設備投資

増強投資

34億円

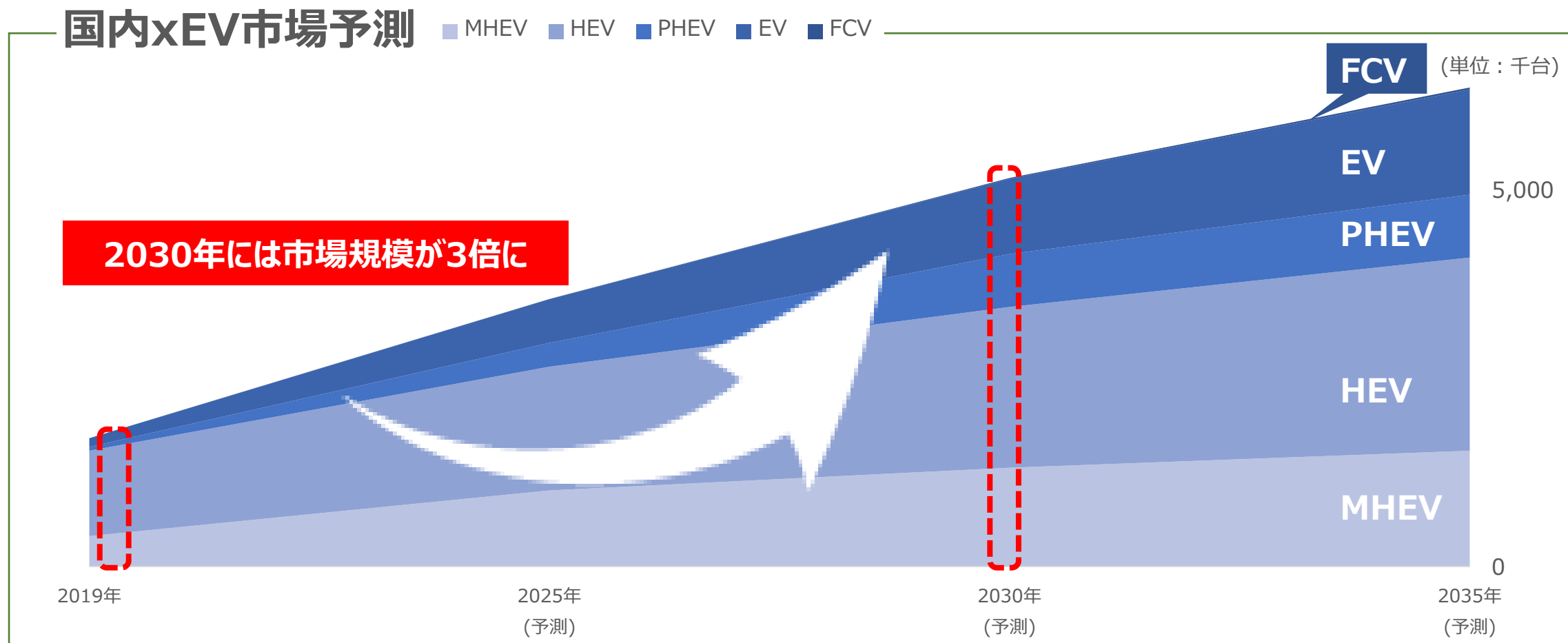
更新投資

32億円



電装・コンポーネンツ事業 国内xEV市場向け戦略

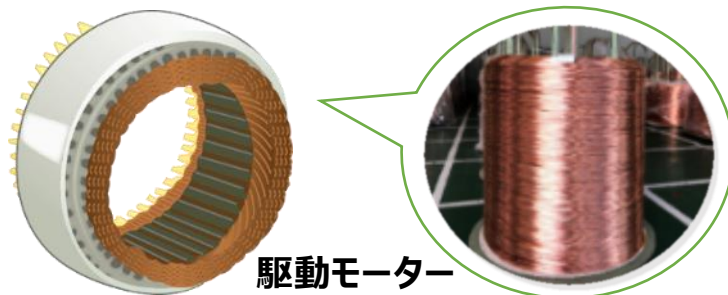
加速するxEV市場に対して、電装・コンポーネンツ事業では製品の増産を推進



出所：各種市場レポートより当社作成

電装・コンポーネンツ事業 xEV車における高機能製品の用途と特長

無酸素銅(MiDIP®)



駆動モーター

車両の軽量化のため、
細径で高効率な素材の要求

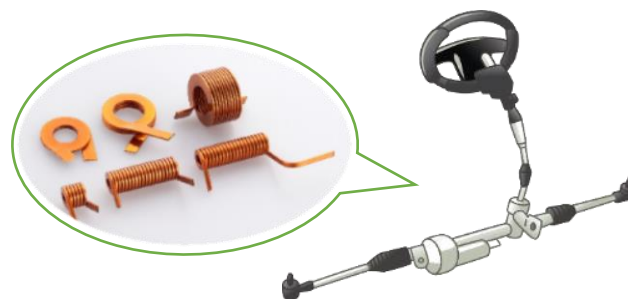
SWCCグループなら…
無酸素銅MiDIP®の量産

	MiDIP®	無酸素銅	タフピッチ銅
酸素含有量	◎	○	△
導電率	◎	○	○
加工性 (曲げ、細線)	◎	○	△

高機能巻線(平角巻線)

EPS、モーター、変圧器 他
高性能で豊富なラインナップの要求

SWCCグループなら…
MiDIP®を利用した高出力、高耐電圧、
高耐熱の平角巻線を製造

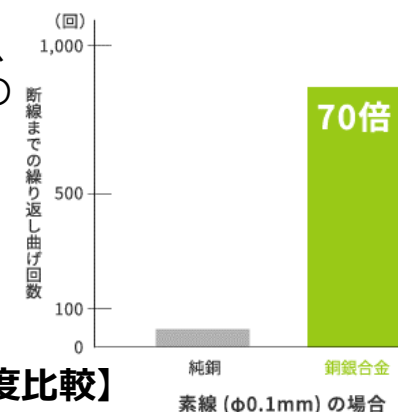


銅合金線(ヒータ線)



ハンドルヒータ、シートヒータ、
バッテリーヒータ
xEVは熱源が無いいため、
快適性や性能維持のためヒータ線を多用

SWCCグループなら…
金属研究のノウハウを活かし、
細くて高強度、高い導電率の
銅合金線を製造



電装・コンポーネンツ事業 増産戦略

高機能製品の増産による車載向けシフトの加速と新たな市場への展開

増産に向けた生産ライン改革 MiDIP®のさらなる生産能力増強計画

設備強靱化投資
生産効率向上



社会課題解決型ビジネスの推進 平角巻線生産革新ライン“Kプロジェクト”推進

生産能力 5倍 (2020年度比)

老朽化
設備撤去
再配置

増産投資
高効率設備導入

センシング
IoT

新材料
技術

生産効率
CO2削減



これまでの商流(一例)

MiDIP®

巻線メーカー

モーターメーカー
カーメーカー

これからの商流(一例)

加工度の向上・利益率のアップ

平角巻線化

モーターメーカー
カーメーカー

多様なモータニーズの拡大

— SWCCグループ
— 納入先メーカー

社会課題解決型ビジネス

持続可能な社会の実現にむけて、社会課題の解決に貢献します

環境・エネルギー

防災・インフラ

生活・モビリティ

教育・人材育成

医療・健康

社会課題

- カーボンニュートラルの実現
- 消費電力の増加

- 社会インフラの老朽化
- 大規模自然災害の発生

- 内燃機関車による環境汚染
- Afterコロナの到来

- 労働人口の減少
- リモート教育環境の不足

- 医療従事者の不足
- 医療費の増大

社会課題 解決



再生可能エネルギーの促進



SICOPLUS



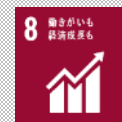
都市のレジリエンス強化



高効率EVモーター実現



安全快適な自動運転



労働人口不足の解決



医療環境の充実



中期経営計画 Change & Growth SWCC 2026

売上高
1,617億円
営業利益
76億円
営業利益率
4.7%

2020年度実績

売上高
2,000億円
営業利益
100億円
営業利益率
5%以上

2022年度計画

売上高
2,150億円
営業利益
150億円
営業利益率
7%以上

2026年度目標

売上高
2,200億円
営業利益
200億円
営業利益率
9%以上

2030年度ビジョン

	2020年度実績	2022年度計画	2026年度目標
売上高	1,617億円	2,000億円	2,150億円
営業利益/営業利益率	76億円 / 4.7%	100億円 / 5%以上	150億円 / 7%以上
経常利益	78億円	98億円	150億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	50億円	66億円	100億円
1株当たり配当金/配当性向	20円 / 12%	50円以上 / 約20%	120円以上 / 約35%
有利子負債	377億円	430億円以下	400億円以下
DEレシオ※ DEレシオは自己資本で算出しております	79%	70%以下	50%以下
純資産	482億円	600億円以上	850億円以上
自己資本比率	36.7%	40%以上	50%以上
ROE/ROIC	11.4% / 6.3%	10%以上 / 7.0%以上	10%以上 / 8.5%以上
EBITDA	108億円	130億円以上	200億円以上



本説明資料に記載されている将来の業績予測値は、公表時点で入手可能な情報に基づいており、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。

このため、実際の業績は、さまざまな要素により、記載された予測値と大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与える要素としては、経済情勢、需要動向、原材料価格・為替の変動などが含まれます。
なお、業績等に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。

お問合せ先

昭和電線ホールディングス（株）
経営戦略企画部 戦略課
TEL：044-223-0520
E-mail：kouho@hd.swcc.co.jp

昭和電線ホールディングス（株） 東証一部（5805）